

研究名

エロビキシバットの使用実態調査と有効性に関する検討

1. 研究の対象

2023年10月から2024年3月までに、エロビキシバットを内服開始した症例が対象。

2. 研究目的・方法

エロビキシバットは慢性便秘症に対する治療薬であり、既存の薬剤のいずれとも異なる作用機序を有するため新たな治療の選択肢となることが期待されています。添付文書において用量は通常10mgであり、症状により適宜増減となっています。また、便通異常症診療ガイドライン2023にエロビキシバットが治療の選択肢となることが明記されました。

今回、エロビキシバットを新規開始した患者における排便状況の実態調査および有効性について検討します。

2023年10月から2024年3月までにエロビキシバット5mg/日および10mg/日を内服開始した症例を2群に分け、年齢、性別、投与量、服用前後の排便回数、投与後から自然排便が得られた日数、併用薬、既往歴、AST、ALT、尿素窒素、クレアチニン、eGFR、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、HbA1c、服用に伴う副作用の有無等を診療録から後方視的に調査をします。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ患者情報（後向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 細田 菜摘

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 細田 菜摘